

# 日本評価学会第14回全国大会日程 「地域活性化への評価の役割」

2013年12月14日（土）

13:00 - 13:30	受付		
午後の部Ⅰ 13:30 - 15:30	<b>共通論題1</b> SROI評価：自立支援団体の社会的投資リターンの計算の実例 （伊藤 健/佐々木 亮） 第4会議室	<b>共通論題2</b> 行政評価局調査の近年の取組 （小島 卓弥） 第5会議室	<b>共通論題3</b> グローバル人材の育成・定着支援による地域の活性化と評価 （佐藤 由利子） 第6会議室
午後の部Ⅱ 15:45 - 17:45	<b>共通論題4</b> 科学技術への社会的期待の可視化と研究開発の社会インパクト評価 （伊藤 健） 第4会議室	<b>共通論題5</b> 公的法人のガバナンスと評価－独立行政法人等公的法人・自治体等の論点－ （南島 和久） 第5会議室	<b>自由論題1</b> 東日本大震災・被災地での活動評価 （林 薫） 第6会議室
18:00 - 18:30	総会 第7会議室		
18:45 - 20:00	懇親会 （レストラン Le Port）		

2013年12月15日（日）

9:00 - 9:30	受付		
午前の部 9:30 - 11:30	<b>共通論題6</b> 民間ビジネスの社会貢献評価の課題（世界銀行グループとJICAの取り組みから） （畑島 宏之） 第4会議室	<b>RTD</b> 評価人材の教育について （田中 啓） 第5会議室	<b>自由論題2</b> 教育・研修評価 （齊藤 貴浩） 第6会議室
11:30 - 12:30	お昼休み		
午後の部 12:30 - 14:30	<b>共通論題7</b> エビデンスに基づく教育－日本での実践に向けて－ （田辺 智子） 第4会議室	<b>自由論題3</b> 評価手法 （廣野 良吉） 第5会議室	<b>自由論題4</b> 行政評価 （小野 達也） 第6会議室

（ ）は座長です。  
自由論題報告の時間は原則として、発表20分、質疑8分、交替2分（計30分）です。

<b>【大会参加費】</b>	
学会員（正、学、賛）	2,000円
准会員	3,000円
非会員学生	3,000円
非会員一般	4,000円
懇親会	未定

発表会場： 第4会議室～第8会議室  
 総会： 第7会議室  
 大会本部： 受け付け付近  
 理事会/委員会 第8会議室  
 懇親会： コンベンションセンター内レストラン  
 1F ル・ポルト

**日本評価学会第14回全国大会「地域活性化への評価の役割」  
プログラム詳細**

**12月14日（土） 12:00-13:00 理事会**

**12月14日（土） 午後の部Ⅰ 13:30-15:30**

<b>共通論題1 SROI評価：自立支援団体の社会的投資リターンの計算の実例</b>		<b>第4会議室</b>	
		<b>座長 伊藤 健</b>	<b>慶應義塾大学</b>
		<b>座長 佐々木 亮</b>	<b>(株)国際開発センター</b>
		<b>司会 大沢 望</b>	<b>早稲田大学</b>
		<b>コメンテータ 池内 賢二</b>	<b>日本財団</b>

K1-1	SROI評価の事例1：社会福祉法人オリーブの樹		伊藤 健	慶應義塾大学
K1-2	SROI評価の事例2：社会福祉法人はる		佐々木 亮	(株)国際開発センター
		○	伊藤 健	慶應義塾大学

<b>共通論題2 行政評価局調査の近年の取組</b>		<b>第5会議室</b>	
		<b>座長 小島 卓弥</b>	<b>総務省</b>
		<b>コメンテータ 西出 順朗</b>	<b>岩手県立大学</b>
		<b>コメンテータ 南島 和久</b>	<b>神戸学院大学</b>

K2-1	複数府省にまたがる政策の評価 「事例；法曹人口の拡大及び法曹養成制度の改革に関する政策評価」		松本 順	総務省
K2-2	行政評価・監視 「事例；社会資本の維持管理及び更新に関する行政評価・監視」		楠原 修	総務省
K2-3	地域計画調査 「事例；行政評価局が実施している地域計画調査～中国四国管区行政評価局の地域計画調査を中心に～」		城代 充郎	総務省

<b>共通論題3 グローバル人材の育成・定着支援による地域の活性化と評価</b>		<b>第6会議室</b>	
		<b>座長 佐藤 由利子</b>	<b>東京工業大学</b>

K3-1	地域における留学生の受入れと定着支援の評価と課題～広島県の事例を中心として～		尾本 勝昭	広島大学
K3-2	島根県内のインターンシップによる 就職支援の効果測定の枠組み		青山 桃子	(株)シーズ総合政策研究所
K3-3	グローバル人材の育成・就職支援による地域の活性化～関連政策・事業の評価の枠組み～		佐藤 由利子	東京工業大学

**12月14日（土） 午後の部Ⅱ 15:45-17:45**

<b>共通論題4 科学技術への社会的期待の可視化と研究開発の社会インパクト評価</b>		<b>第4会議室</b>	
		<b>座長 伊藤 健</b>	<b>慶應義塾大学</b>
		<b>司会 玉村 雅敏</b>	<b>慶應義塾大学</b>

K4-1	科学技術の予測と評価～事前評価としての予測と社会インパクト評価～		白川 展之	慶應義塾大学
K4-2	科学技術の社会的期待に対する統合評価モデル～スマートシティ構想に関する政策マーケティングとSROIの設計思想～		高橋 武俊	慶應義塾大学
			玉村 雅敏	慶應義塾大学
			白川 展之	慶應義塾大学
K4-3	SROI法による定量評価を活用したテクノロジー・ソリューションとコミュニティ・ソリューションの最適施策形成		伊藤 健	慶應義塾大学

<b>共通論題5 公的法人のガバナンスと評価—独立行政法人等公的法人・自治体等の論点—</b>		<b>第5会議室</b>	
		<b>座長・司会・コメンテータ 南島 和久</b>	<b>神戸学院大学</b>

K5-1	行政改革における公的法人の制度的地位		新井 誠一	内閣府
K5-2	独立行政法人のガバナンスとコントロール		森田 弥生	総務省
K5-3	自治体等のマネジメントにおける予算と評価の役割		佐藤 幹	広島大学

<b>自由論題1 東日本大震災・被災地での活動評価</b>		<b>第6会議室</b>	
		<b>座長 林 薫</b>	<b>文教大学</b>

J1-1	震災復興における施設整備事業の評価の視点～QFF・日本財団助成事業「多機能水産加工施設整備事業」より		岩淵 祐二	公共価値創造研究所
J1-2	ピース・ウィングス・ジャパン東日本大震災心理社会的ケアプロジェクト～評価結果から導き出される日本のNGOが国内の被災地で活動する際の教訓～	○	小林 美紀	元NPO法人HANDS
			中村 安秀	大阪大学
			西井 栄美子	NPO法人HANDS
			和田 知代	NPO法人HANDS
			平野 志穂	NPO法人HANDS
J1-3	大学生を主体とした被災地支援活動の実践と評価		沼田 眸	NPO法人HANDS
			星野 敦子	十文字学園女子大学

**12月14日（土） 総会 18:00-18:30**

**12月14日（土） 懇親会 18:45-20:00**

12月15日(日) 午前の部 9:30-11:30				
<b>共通論題6 民間ビジネスの社会貢献評価の課題 (世界銀行グループとJICAの取り組みから)</b>		<b>座長 畑島 宏之</b>		<b>世界銀行</b>
K6-1	民間ビジネスにおける社会貢献評価手法の課題 世界銀行グループの経験から		畑島 宏之	世界銀行
K6-2	JICAのBOPビジネス連携促進事業と評価フレームワーク整備にむけての取り組み		池田 則宏	国際協力機構
<b>RTD 評価人材の教育について</b>		<b>座長 田中 啓</b>		<b>静岡文化芸術大学</b>
		<b>司会 小島 卓弥</b>	<b>総務省</b>	
RTD-1	行政評価局における人材育成に関して		松田 網児	総務省
RTD-2	自治体における評価教育に関して		佐藤 徹	高崎経済大学
RTD-3	日本の政策系大学・大学院での評価教育に関して		窪田 好男	京都府立大学
RTD-4	米国の政策系大学・大学院での評価教育に関して		西出 順郎	岩手県立大学
<b>自由論題2 教育・研修評価</b>		<b>座長 齊藤 貴浩</b>		<b>大阪大学</b>
J2-1	技術・家庭科技術分野におけるポートフォリオ検討会の教育効果に関する研究 I		磯部 征尊	新潟市立亀田小学校
		○	伊藤 大輔	金沢工業大学
			五十嵐 和義	上越市立上越特別支援学校
J2-2	発達障害のある生徒を対象にした学習支援員(LSA)普及事業の評価～助成事業評価にプログラム評価の継続的改善評価CD-TEPアプローチ法を用いた試み～	○	新藤 健太	日本社会事業大学
			大島 巖	日本社会事業大学
			鴨澤 小織	日本社会事業大学
			及川 博文	日本社会事業大学
			村里 優	日本社会事業大学
			池内 賢二	日本財団
			大田 直樹	日本財団
			藤堂 栄子	(特活)エッジ
J2-3	開発途上国支援のための研修の効果～JICA課題別研修を事例として～	○	岸本 昌子	(一財)日本国際協力センター
		○	菊田 怜子	(一財)日本国際協力センター
J2-4	インパクト評価研修プログラムの効果測定	○	青柳 恵太郎	(独法)国際協力機構
			越知 直哉	(独法)国際協力機構
			西野 宏	(独法)国際協力機構

**12月15日(日) お昼休み 11:30-12:30 (編集委員会 11:30-12:30)**

12月15日(日) 午後の部 12:30-14:30				
<b>共通論題7 エビデンスに基づく教育-日本での実践に向けて-</b>		<b>座長 田辺 智子</b>		<b>国立国会図書館</b>
		<b>コメンテータ 津富 宏</b>	<b>静岡県立大学</b>	
K7-1	英国におけるエビデンスに基づく教育		惣脇 宏	京都大学
K7-2	エビデンスに基づく教育とは		森 俊郎	岐阜県養老町立東部中学校
K7-3	EBE研究会の活動について～実践・研究・行政の三位一体を目指して～		中井 俊之	広島市立福木小学校
K7-4	生徒の主体的な学びを実現している教師の実践知～ナラティブとエビデンスを統合した研究アプローチの提案～	○	水野 正朗	名古屋市立桜台高等学校
			清道 亜都子	三重短期大学
			柴田 好章	名古屋大学
<b>自由論題3 評価手法</b>		<b>座長 廣野 良吉</b>		<b>成蹊大学</b>
J3-1	効果的プログラムモデル形成のための実践家参画型評価アプローチ法の開発(その2):「評価ファシリテータ」の機能と役割に注目して	○	大島 巖	日本社会事業大学
			新藤 健太	日本社会事業大学
			費川 信幸	日本社会事業大学
			中越 章乃	神奈川県立保健福祉大学
			小佐々 典靖	国立障害者リハビリセンター
			廣瀬 圭子	目白大学
J3-2	政府予算案分析のための独立財政機関とそれらの評価基準		上野 宏	国際開発センター
J3-3	米国の「政策評価への事業費1パーセント保留」の歴史的意義		上野 真城子	アジア都市コミュニティ研究センター
J3-4	1人の父兄からの学校評価		石田 健一	東京大学
<b>自由論題4 行政評価</b>		<b>座長 小野 達也</b>		<b>鳥取大学</b>
J4-1	地方自治体における建築物の地球温暖化対策の制度と評価		中田 雅陽	法政大学
J4-2	図書館経営において評価活動が事業の改善に与える影響		下山 佳那子	筑波大学
J4-3	市民判定人と仕分け人の評価の関係について		佐藤 章	大津市役所
J4-4	参加型戦略プログラム評価の導入		真野 毅	京都産業大学